

R1主事招聘研究授業【道徳】リフレクションシート				令和元年度
日付	11月26日	回答者数	11	竹富町立船浦中学校
教科(学年)	道徳(1年)	【本時のめあて】 これからの「挨拶」をもっとよりよくするために考える		
授業者 氏名				

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない							
				評価			備考
				◎	○	△	肯定的回答
1	学習用具を忘れずに準備することができる。			100%	0%	0%	100%
2	授業が始まる時刻には、席に着くことができる。			100%	0%	0%	100%
3	授業のあいさつで3秒礼ができる。			56%	44%	0%	100%
授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない							
	項目			評価			備考
	三本柱	校内研主題		◎	○	△	肯定的回答
4	学びに向かう力・人間性	深い学びへ	生徒は、『めあて』に向けて、「やってみたい」と思って学習に取り組もうとしている。	64%	36%	0%	100%
5	知識・技能	深い学びへ	生徒は、『まとめ』の段階で、その時間で何を勉強したのか整理する力が身に付いている。	60%	40%	0%	100%
6	知識・技能	深い学びへ	生徒は、『振り返り』の活動で、その時間に勉強したことを自分の言葉で表し、振り返る力が身に付いている。	55%	45%	0%	100%
7	学びに向かう力・人間性	主体的	生徒は、「もっとできるようになろう」、「もっと考えてみよう」としている。	55%	45%	0%	100%
8	思考力・判断力・表現力	主体的	生徒は、「自分で考える」ことができる。	64%	36%	0%	100%
9	思考力・判断力・表現力	対話的	生徒は、自分の考えを「友人や先生に伝える」ことができる。	27%	64%	9%	91%
10	思考力・判断力・表現力	対話的	生徒は、友人や先生の考えを聞いて「自分の考えを見直したり、広げたりする」ことができる。	0%	91%	9%	91%

○よかったところ ・導入の部分はマインドマップの活用や「めあて」の設定など、工夫が見られた。 ・デジタル教科書等のICT機器の活用も効果的であった。 ・生徒が自主的に挙手し意見を述べるなど、積極的であった。 ・生徒が本時の目標に向かって真剣に考えている様子がうかがえた。 ・振り返りを全員に発表させていた。担任としての想いが伝わる！ ・生徒のつぶやきを上手に拾っていた。「いいね」「分かっているね」がgood! ・担任と生徒の信頼関係が素晴らしい、落ち着いて授業できた。 ・マインドマップの活用が良かった。 ・挨拶アンケートを以前とつたやつを使い方が良い。短くて印象的。 ・事前の語句調べなど、授業の準備が徹底している。 ・生徒にあいさつの実演をさせたことが、イメージしやすさにつながっている。 ・交流学習の石中生のあいさつについて生徒が触れていたように、過去の行事がしっかりと生徒の心に残っている。 ・「書き終わったら裏返します」と作業の進行具合が分かる指示があった。 ・デモンストレーションの際、さんへの周りからの声かけがよかった。 ・発表のとき、聞く姿勢の声かけがあった。 ・授業最初のマッピングで、生徒が楽しそうにしていた。 ・生徒に黒板を使わせることで、生徒が板書に参加できていた。 ・アンケートから、できていない面が見え、それを課題としてとらえ、めあてを立てることができていた。 ・温かく声かけをして机間指導するなど、子どもが安心感をもって考えることができていた。 ・教科書のみならず、動画も活用しながら学習内容を深めていた。 ・学級の支持的風土good.	●改善点 ・まずはタイムマネジメント。時間配分について前半に時間をかけすぎた。 ・発問の数が多かった。もう少し絞り込んで焦点化したかった。 ・生徒が自分事として考えを深める時間、意見交換する時間がほしかった。 ・発問①～③のつながりが分かりにくい。口頭発問と発問①をささっとやって、②に時間をかけると良かったかな。 ・発問の工夫を考えていたつもりでしたが、まだまだ課題があった(他学年での検証授業後)・予想していたけど、時間が足りなかった。 ・導入の時短。カード等にかかせて黒板に貼るなど、生徒が黒板に書く時間はまず減らせそう。 ・最初の口頭質問について答えさせる前に、30秒でも考える時間を設定して欲しい。 ・発問③から、何を考えさせたいか(親子の日常的な会話なのか、言えない気持ちをあいさつの型にこめる、なのか)を伝え切れていないのでは。親子の会話を増やそうというのも悪くないが、そこからもっと深めたい。 ・発問②は「まだ取りかかるのが難しい?」と聞いていたので、まだしばらく様子をみてもいいかと思った。 ・終わりまでに時間がかかっていた。「嬉しかった挨拶・声かけ」について話し合う活動について、時間を決めてあげるなど工夫が必要だと思った。 ・ペア学習でお互いの考えをシェアする場面を設定しており良かったが、話し合っているペアが少なかった。 ・書く時間と発表する時間が混在している。書く活動を精選してあげた方が考えが深まったり広がったりするのでは。 ・発問②をもとにして授業展開させていくとよいのでは。 ・教師と生徒のやりとりが目立ったので、生徒同士の交流から深めたい。 ・聞く態度、発表者の方を意識し、自分の考えとの違いから深める。
その他 ・生徒達が、今日の授業の目標に向かって真剣に取り組んでいたのがよく伝わってきました。よかったと思います。 ・2、3年の授業を受けて、何度も指導案を練り直し、じっくり時間をかけて教材作りをしていた姿、先生の熱意と生徒への熱い想いが伝わってきました。 ・タイムマネジメント(担任としての想いで発表させたが)の徹底と、対話的にする授業の工夫。 ・時間が押しているときに、授業者が予定をどう取舍選択するか。週末の整え方。「何を最も感じさせたいか(残したいか)」時間を過ぎたら最小限にしたい。 ・デモンストレーション、動画、アンケートなど、子どもたちが自分の挨拶を振り返るための材料がいろいろあつてすごいと思いました。 ・1時間の授業の中でどこが山場なのか。中心発問の設定はないのかな。	【授業者の振り返り】 ・反省点として…生徒2～3名がふざけてしまったところ。時間配分ができなかったところ。主発問(山場)が見えづかったことが挙げられる。 ・良かった点…生徒達が一生懸命書き、発言してくれたこと。振り返りで、挨拶を向上させたいという意見が多かったこと。 ・一方で…教員側の意図を示しすぎて、本人達の素直な考えや飾らない意見が出たかどうかは、今後の授業の進め方で工夫が必要だと感じた。